

JIS L 1018「ニット生地試験方法」の廃止、および JIS L 1096への統合に関するお知らせ

2010年6月21日にJIS L 1096「一般織物試験方法」の改正が官報に公示されました。旧規格JIS L 1018「ニット生地試験方法」及びJIS L 1096「一般織物試験方法」は規定に重複している部分があったため、この二つの規格はJIS L 1096に統合され、名称も「一般織物試験方法」から「織物及び編物の生地試験方法」に変更されました。これにより、JIS L 1018「ニット生地試験方法」は廃止されました。

規格の改正について

[1] 改正のポイント

今回のJIS L 1096の規格改正におけるポイントは、以下の3点です。

- ① 名称変更
- ② JIS L 1018とJIS L 1096の統合
- ③ JIS L 1909「繊維製品の寸法変化測定方法」における生地部分の試験方法をJIS L 1096に統合

[2] 改正点の例

JIS L 1018とJIS L 1096の統合において種々変更点がある中でも一例として、摩耗強さを紹介します。摩耗強さを評価する試験方法の中の一つにA-1法（平面法）があります。A-1法（平面法）においてはエンドポイント及び研磨紙について以下のように改正されました。

改正前	エンドポイントに関する改正	研磨紙に関する改正		
		試料の質量 (g/m ²)	研磨紙の種類	
改正後	試験片が磨耗して穴が開き、機械が停止したとき。	150未満	炭化けい素質 P1200-Cw	
		150以上250未満	炭化けい素質 P600-Cw	
		250以上450未満	炭化けい素質 P400-Cw	
		織物試料の質量 (g/m ²)	編物試料の質量 (g/m ²)	研磨紙の種類
	孔の最大長さが8mm±1mmの孔があいたとき。但し、糸が数本残っていても下が見える状態になった時点で終了とする。	250未満	250未満	Cw-C-P1200
		250以上400未満	250以上	Cw-C-P800
		400以上又は特殊品	—	Cw-C-P400

※その他の改正点に、摩耗強さA-3法(折目法)の試験方法について詳細を明記、寸法変化率の丸め方(0.1単位に統一)、ニット生地のドライ寸法変化率の名称変更(E-1法 → J-2法、E-2法 → J-1法)等があります。

試験依頼について

JIS L 1018とJIS L 1096の統合による技術的な面での大きな変更点はありませんが、試験条件や試料サイズが変更された部分があります。今回の統合により、お客様よりご依頼された編物の生地試験（破裂強さ、摩耗強さ等）や報告書の発行は、JIS L 1096に基づいて行います。

